



2014年4月17日
株式会社損害保険ジャパン
日本興亜損害保険株式会社

日本の希少生物種の保全活動「SAVE JAPAN プロジェクト」
～全国47都道府県で累計325回のイベントを開催、参加者18,000名を突破～

株式会社損害保険ジャパン（社長：櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）と、日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也、以下「日本興亜損保」）は、「SAVE JAPAN プロジェクト」において、2011年度の開始から3年間で累計325回のイベントを開催し、18,000名を超える市民の皆さまに参加いただきました。

また、2013年度の「SAVE JAPAN プロジェクト」の活動資金として、環境NPO等に88,969,580円の寄付を行いました。

1. 「SAVE JAPAN プロジェクト」の概要

「SAVE JAPAN プロジェクト」は、お客さまが自動車保険のご加入時にWeb約款をご選択いただいた場合に、その実績に応じて環境NPOなどに寄付を行い、日本NPOセンター、地域の市民活動を支援するNPO支援センターや全国の環境NPOと協働で、市民向けの生物多様性保全活動を行うプロジェクトです。

このプロジェクトでは、地域住民の方々に身近な自然環境に関心を持っていただく機会を提供するとともに、企業とNPOが市民の皆さまと協働で環境保全活動を実施することで「いきものが住みやすい環境づくり」を目指しています。

2. 2013年度の活動

2013年度は47都道府県で138回のイベントを開催し、6,947名の市民の皆さまに参加いただき、2011年度の開始からの累計参加者は18,000名を超えました。

2014年1月には、過去3年の取組みを公表するとともに、これからの企業とNPOの協働のあり方について考える、「みんなで語ろう！これからの企業とNPOの協働のカタチ～『SAVE JAPAN プロジェクト』3年間のあゆみから～」を開催し、NPOや企業など多くの方に参加いただきました。

3. 今後の展開

2014年度の「SAVE JAPAN プロジェクト」は、6月から各地でイベント開始を予定しています。損保ジャパンと日本興亜損保は、今後もNPOなどとの協働を通じて、市民の皆さまに身近な自然環境に関心を持っていただく機会を提供するとともに、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

以上